

縮尺とは?地図から実際の距離の求め方を 簡単にわかりやすく解説

「縮図の利用」縮尺とは?

縮図を利用して実際の長さを求めるという問題に挑戦していこう。 縮図って日常生活で地図やカーナビとかに使われているよね。

実際の距離はすごく離れているけど、小さく縮めたものが地図やカーナビだ よね。

その「小さく縮める割合」のことを「縮尺(しゅくしゃく)」というよ。 つまり、「どのくらい縮めているのか?」ということだね。

ちなみに「縮尺」には、「この割合にしなくてはいけない」というような決まりはなくて、その地図やカーナビによっていろいろな「縮尺」が使われているよ。



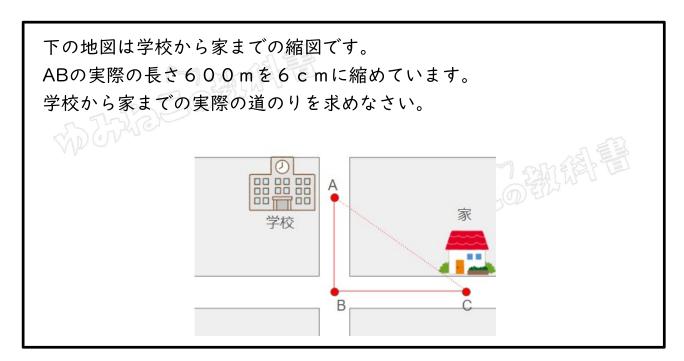






縮尺から実際の距離を求める方法

それでは、縮尺から実際の距離を求める問題の解き方を見てみよう。



STEPI小さく縮める割合「縮尺」を求めよう。

「地図の長さ6cm」が「実際の長さ600m」ということは「地図の長さlcm」が「実際の長さl00m」になる。

まずは「c m」と「m」の単位をそろえてみよう。 今回は、「c m」にそろえるよ。 IOOm=IOOOOcmなので、「地図の長さlcm」が「実際の長さl OOOOcm」になるね。

ということは、

地図の長さは実際の|の縮尺になっているということだね。





ちなみに

<u>'</u>の縮尺のことを

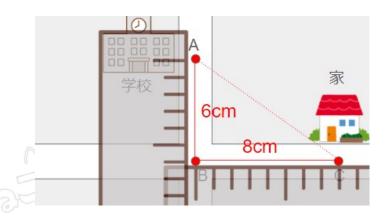
[1:10000]

と書くこともあるよ。

STEP2 学校から家までの長さを地図上で測ろう。

縮尺がわかったら、次は地図上でどのぐらいの長さになっているのかを確認 するよ。

「学校から家までの道のり」は、「AB」と「BC」を足したものだから、 ABとBCの長さを定規で測ろう。



学校から家までの道のりを地図上で測ると 6+8=|4cm だったよ。

STEP3 実際の道のりを求めよう。

縮尺と、地図上での長さがわかれば、実際の道のりを求めることができる よ。





学校から家までの地図上の道のりは I 4 c m だったから、縮尺を使って実際の道のりを求めてみよう。

この地図では、

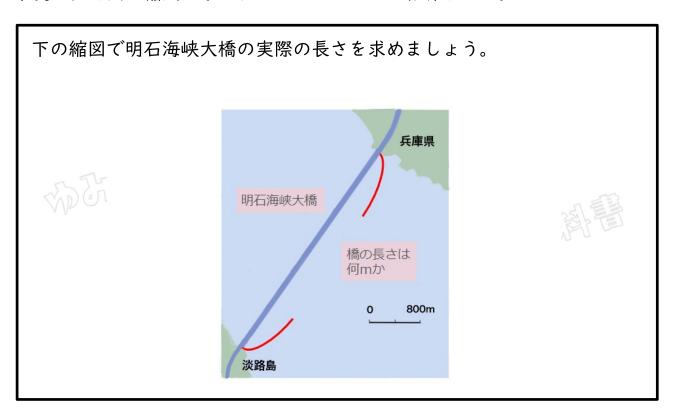
地図上の | cmは実際の | 00m(| 0000cm)だったよね。だから、

地図上の | 4 c m は実際の | 00 × | 4 = | 400 m (| 40000 c m) と求められるよ。

実際の学校から家までの道のりは1400mということになるね。

地図の縮尺の見方と、実際の距離の求め方

今度は、地図に縮尺が示されているパターンを紹介するよ。



さっきの問題とは縮尺の書き方が違うよ。

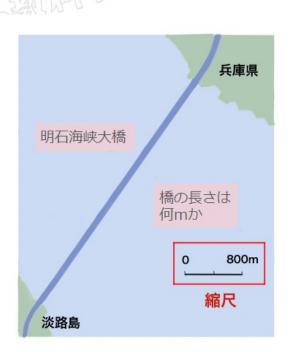




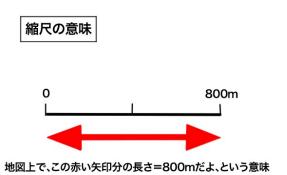
今回の問題文には、「どのくらい縮めたか」の説明がないね。

「今回の縮尺ってどこに書いてあるの?」と困ってしまう人もいるよね。

縮尺はちゃんと地図上に示されているよ。 右下の赤い四角で囲んだところに、縮尺が書いてあるね。



この縮尺の意味は「縮尺の目盛ぜんぶの長さ(下の画像の赤矢印分の長さ)」が「実際の800m」になるということ。







だから、明石海峡大橋の上に「800mの矢印」を置いていくと実際の長さが求められるんだ。

下の地図を見ると、「800mの矢印」が5個置けたから、 明石海峡大橋の長さは 800×5=4000mということがわかるよ。



今回の問題では、「矢印がほぼ5個」ということから実際の長さを求めたけれど、より正確に求める方法があるよ。

STEPI 地図上のIcmが何mになるかを求める

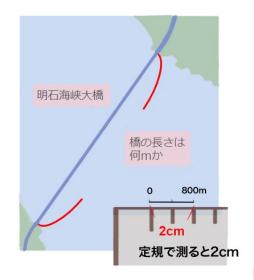
地図右下の縮尺の目盛ぜんぶの長さを定規で測ると、 「地図上の2cm」が「実際の800m」になるということがわかるね。

つまり

「地図上のIcm」は「実際の400m」ということだね。







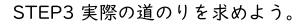
WO THE

STEP2 明石海峡大橋の長さを地図上で測る

明石海峡大橋の長さを地図上で定規を使って測ると、9.5cmになったよ。







地図上の長さは9.5cmだったから、実際の長さを求めてみよう。





この地図では、

地図上の1cmは実際の400mだったよね。

だから、

地図上の9.5cmは実際の400×9.5=3800mと求められるよ。

「縮尺」まとめ

縮尺とは実際の長さを小さく縮めたもので、地図などによく使われるよ。

縮尺の表し方
・ | | 0 0 0 0

. 1:10000

・地図の中に次のように表されている

0 800m

WO THIS SOUTH

